

# 厚木市教育委員会だより「Edu Navi」第1号(平成29年7月1日発行) インターネットモニターアンケート結果

## Q 「教育委員会だより Edu Navi」で紹介した情報の中で、最も興味を持った記事はどれですか。

1面「未来を担う人づくりのために」	9人
2面「タブレット端末を全小中学校に導入」	44人
3面「学カステップアップ支援員を充実」	18人
4面「エデュナビフェイス・親子のための耳よりインフォ・ 数字で見る厚木の教育」	7人
興味を持てる記事がなかった	7人

## Q 興味を持った(持てなかった)具体的な理由をお聴かせください。

### 【1面】

- 桜がきれいだった。
- 子育てについては、厚木市は他の自治体より良いところが多いと思う。
- 子どもは将来のための投資だ！
- 創刊号だけあって関係者の意気込みが感じられて、各紙面とも良く出来上がっていましたので、隈なく読ませて頂きました。
- 家庭・学校・地域の連携を更に深め、子どもたちの豊かな人間性を育てたい。今後の取り組みに期待します。

### 【2面】

- 時代の移り変わりを感じたから。
- 当たり前スマホを扱う世代なので、タブレットの使用も当然だと思います。
- 体育の時間に動画でフォームを比較チェックするのは、少々凝りすぎな気がする。タブレット端末では出来るのがたくさんあるが故に、本当に必要な利用方法は何か精査することが大事だと思う。
- 子供はまだ未就学児なので、現在の小中学校情報が分かって良かった。私の時代とは全然違って、ついていけないかも…と感じましたが。
- 本当に必要なのでしょうか？
- ITと教育という視点から大いに興味を持ち読みました。このテーマは教育者に研鑽<sup>けんさん</sup>していただきたいテーマだと思いました。小・中学生にとって、IT機器はもはや生活必需品の一つとなっているくらい習得が早いものです。
- タブレット端末導入は、時代の趨勢<sup>すうせい</sup>からいって、遅すぎるのでは。
- タブレットで子どもたちの視力は低下しないのか、その点についての話はあまり聞かないので、気になった。
- 家庭でもタブレットを使う機会がありますので、併せて学校でも適切な利用方法を指導してい

ただきたいです。

- 自分の子どもが、配慮が必要な子どもです。タブレットなど積極的に取り入れて欲しい。
- 時代だなーと思います。でも、子どもたちにとってプラスになるなら、さまざまな道具を取り入れるのも良いと思います。
- タブレットを上手に使えば、学力向上の大きな力となると考えたので。
- タブレットに関して、もう各家庭で皆持っているであろうものに税金を使う意味はあるのか、そもそもいくらかかって、見込める効果予測はどんなものなのかをもっと詳しく知りたかったです。
- 経済的な理由で家庭にタブレットやパソコンがない子どもたちには、とても良い取り組みだと思いました。一人一台あれば、平等に使用することができて、色々な面で興味深く学習できるのでないかと思います。

### 【3面】

- 全ての子どもが勉強に意欲を持てるようになるといいと思います。
- 新しい取り組みだと思った。
- 学童の学力低下が懸念されていますので、支援員を充実させることに大いに賛成します。
- とても有効な施策だと感じたので。
- 子どもたちにとって、授業についていくのは重要なことで、支援員はその大きな役割を果たせるかと思い興味を持ちました。
- つまずきを持った児童にとっては、とても助かる存在だと思います。
- 子どもたちの興味ややる気は意外と小さなことで成長します。寄り添い、理解してくれる方がいるだけで、克服できることも多いと感じています。

### 【4面】

- 厚木市の子どもの読書量に関する記事があったため。全国的に読書量が少なくなっているだろうが、数字でしっかりと提示されていたため、現状を確認することができました。
- 小学6年生の6割がスマホを持っているという状況に驚くとともに、心を豊かにしていく面から見た時に、本当にこれが良い状況なのか、考えさせられました。
- 「これって何の数字」は衝撃でした。タイトルもキャッチーですつと読めました。一方、スマホ利用のリスクの記事は、中身がちょっと他人事で客観的な評論家のような記事であまり伝わってきませんでした。もっと具体的に何が問題で、何を各家庭で考えて行動しないといけないのか示唆する記事にしてほしいです。

### 【興味を持てる記事がなかった】

- 創刊号ならば、教育委員会や市長と教育長の役割について基本的な紹介が欲しいと思います。
- 子供がいないため。
- テーマとしては、全市が対象になるのですが、記事として見る場合は、地元の学校などが取り上げられていると関心と呼ぶと思います。

## Q 特集2・3面「タブレット端末、学力ステップアップ支援員」についていかがでしたか。

■タブレット端末は子どもがゲーム感覚で勉強できるのでいいと思いますが、それに頼りすぎるのは弊害がある気がします。

■時代が進んでいるなと思いました。コミュニケーションを取ることを忘れずに機械をうまく使えると良いと思います。

■現状の教育について知ることができて良かった。

■お金をかけ過ぎだと感じた。

■厚木市が教育に力を入れていることがわかってよかった。

■家庭環境に関わらず、児童がタブレットを使用できる環境は良いと思います。

■支援員は良いと思います。タブレットも良いと思ったが、紙媒体のメリットも大なので、それとの共存を図るのが良いと思った。

■タブレットは、うまくやれば教員の方の負担低減にもなるのではないかと思い、導入することは良いと思いました。ただ、そのトレードオフを考える必要があると思います。

■教育経験や教育の専門知識をお持ちの方々の支援を今後とも受けられるよう教育委員会の施策に力を入れて欲しいと思います。

■最先端の教育が厚木市にも取り入れられていることがわかりました。どのように活用されているのか、その様子を写真付きで見ることができ、理解力がより深まったと思います。教育におけるイチオシポイントも列挙してあり大変見やすかったです。

■タブレットも良い使い方をすれば学力向上へつながるかもしれないので、今後の効果に期待したいと思います。

■ステップアップ支援員はとってもいいと思う。放課後の部活などに先生ではなく、どんどん他の補助員を雇って、指導員にすればいいと思う。

■学力ステップアップ支援員さんが学校にいて、より細かな気配りが子どもたちに出来ているなと思いました。

■タブレット端末が、おもちゃ感覚にならないよう、学力アップに役立たせて頂きたいものです。

■IT機器や支援員で学力向上を目指すことは、素晴らしいこと。ただ、学力だけでなく、人間力向上のプログラムも必要でしょう。例えばボランティアや文化・スポーツ活動などを通じての挨拶、礼儀などの基本的な資質向上。

■「学力ステップアップ支援員」について、先生一人では生徒全員に目を向けるのは大変かと思います。授業についていけない生徒がいても先に進めなければなりません。授業の支援員がいたら生徒全体の学力向上に大いに役立つと思います。

■昔とは異なる今の教育状況がわかって良かった。

■さまざまな勉強の進捗がある子どもたちのために、いろいろなサポートをしてあげることがとても良いとは思っています。

■ICTの活用へのアピールとしてはよい記事だと思います。ただ文章が多く、読むのに疲れてしまいます。もう少し図や表を増やしてアピールしたいことを絞って訴えたほうが良いと思いました。

■学力ステップアップ支援員は、低学年の担任の先生にとってありがたい存在だと思います。足並みが揃わないときに個別指導、安全の確保なども担任が授業に集中できていることの一つだと思います。

■タブレット端末にはいろいろな活用法が考えられるが、それにはまず端末の取り扱いになじむ必要がある。学校教育の一環として、一人一台使って利用法や使い方を指導するのは大変良いと感じた。

■画期的だと思った。

■このような制度があるのは知らなかったので、厚木市のアピールポイントとして市外にも積極的に告知してほしいです。

■基礎学力を定着するには、支援員の方々の存在は大きいと思います。わからないことが、恥ずかしいと思わずに質問できるような人材が大切だと思いました。

■今後の向上した結果も示してほしい。生徒全員、全学校対象なのか？無駄にならないように。

■これからの時代には必要かと思いますが、そればかりになっていくさみしさ、あえて手書きにしたり手間と時間をかけることの大切さもないがしろにしてほしくはないです。

■子どもの表現力や、一人一人の持っている力を引き出せる支援を期待します。

■厚木の子どもたちが世の中の潮流に遅れないように、教育においてITの活用を進めることや、子どもたちにITを学習する機会を付与することは結構なことだと思います。また、専門性も高く経験豊富な方々を支援員として活用する制度も有益だと思います。

#### Q 「教育委員会だより Edu Navi」について、意見・感想があればお聞かせください。

■子どもの教育は、親や教師だけでなく、社会全体で行うものだと思うので、これからも色々な情報を発信してほしいです。

■見やすく読みやすかった。

■最近の教育事情が分かり、良かったです。

■全体のデザインがカラフルで読んでいて楽しかったです。表紙の子ども達の笑顔の写真がとても印象に残り、大人だけではなく、子どもも読んで楽しくなりそうだと思います。

■多方面から学ぶことができる今の教育を受けた子どもたちは、選択肢も多く柔軟な考え方ができるようになっていくのでしょうか。うらやましい。

■別冊ではなく、広報あつぎの中に教育委員会だよりの記事を組み込めたら読みやすいし、表紙分も節約できると思った。

■自分の子どもたちが成人すると、どうしても教育への関心が薄れてきます。教育委員会だよりを読むと、関心を少しでも取り戻すことが出来ますね。

■本当に子どもが学校で幸せか、いじめはないのか、職員の超勤、部活はどうなのか、きれいごとだけでなく学校の実情を示すべきだ。

■ほとんど読書をしない小学生が、27.2%もいることに驚きました。赤ちゃんの時には『ブックスタート』で絵本がもらえるのに、その後読書の習慣が定着しなくなるのはちょっと寂しいですね。

■継続的な発行を期待します。”数値”などは、その後の推移などにも興味があります。4ページ程度は、適切な容量だと思います。

■広報に挟んで頂く事で、多くの人目に触れて良いと思う。

■子どもたちの将来も大切だが、高齢者にももっと手厚い支援をお願いしたい。

■児童の意見も多く取り入れてほしいです。

■これからは子どもは地域の宝であり、子どもから手が離れた市民も未来作りの必要性を感じて欲しい。

■国の将来を担っていく人材の育成は、何よりも先立って行われなければならないと常日頃考えています。今後も、この種の記事を紹介していただけるとありがたいと思います。

■学校のことが良く分かった。

■写真が多く、読みやすいと思いました。4面のスマホの記事は今後も続けて欲しいと思いました。

■今後も教育委員会だよりを読めるのを楽しみにしています。

■教育委員会に特化した広報は今までなかったので、市の教育政策を周知するには良い材料だと思います。是非継続してほしい。

■自分にも子どもがいるので、教育活動にはとても興味を持っている。このように、教育への取り組みが載っていると、とてもわかりやすく、どうしたいのかわかり、私も協力したいと思えた。今後も成果と問題点を載せてほしい。

■今回、創刊号として大変充実していて読みごたえがありました。市長の言葉の厚木市の「子育て・教育環境日本一」を目指して、市民の意識も向上するよう「Edu Navi」に期待します。

■熱意が伝わってきて、良かったと思う。子どもがいない世帯の方にも、教育の現状を知らせることができ、教育活動に参加しやすくなるのではないかな。

■学校で何が行われているのか、とてもよく分かりました。

■今後も、充実した「教育」情報の発信に期待しております。

■家庭では見えない学校生活など、どんどん特集にして発信していただきたいです。

■教育現場の生の様子が伝わってきました。

■教育委員会の取り組みについては、日ごろは殆んど知る機会が無いので、このような広報紙を配ってもらうのは大変有意義と思う。

■教育委員会だより、とても興味深い内容でした。厚木市の取り組みが理解できて、素晴らしいです。

■他のスポーツ方面などの取り組みが知りたい。

■教育委員会がこのようなチラシを作成したことに驚いた。今後とも発行し続けてほしいと思う。この広報が、ぜひ子育て中の方々に届けられていればいいと思う。

■3ページのイチオシ政策について、もっと深く書いてほしかった。教育現場にはマンパワーが必要で、それをどのように活用させていくか委員会の意見や方法をもっと書いてほしい。また、可能ならPTAに関する内容も書いてほしい。教育現場に不安を抱く原因や体制を、教育委員会がどのようにとらえているのかを示してほしい。

■普段お話する機会はないので、教育長コラムが良かったと思います。

■これまで縁遠い存在であった教育委員会も、今回の広報紙の発刊で私達市民との距離感も縮まるのではないかと思いますし、今後にも大いに期待しています。

■子育て中の主婦としては、我が子の教育に関して、このようにまとめて教えていただけるととても助かります。学校でしてくださっている取り組みを系統的に知ることで、学校と保護者の連携も取りやすくなると思います。

**Q 年間の発行回数は、どの程度がよいと思いますか。**

1回	14人
2回	26人
3回	17人
4回	23人
6回	5人